

○ 選抜資料

育成型選抜						一般選抜					第2次募集選抜					
活動重視枠			実績重視枠			調査書	学力検査	個人面接	集団面接	実技検査	調査書	作文	面接	学校指定制の検査		実技検査
調査書	学力検査	活動記録	実技等 実施	個人面接 調査票	調査書									学力検査	活動記録	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		国数	

○ 育成型選抜

(1) 出願要件と募集人数

次の各競技・分野の出願要件に該当または同等の優れた能力・活動実績をもち、入学後も学業と両立させ、その活動を継続できる者

活動重視枠 21人以内		A・・・運動分野、B・・・文化・ポリシー分野			
募集分野	出願要件	募集人数	募集学科	備考	
A 男子バレーボール	何らかの運動部または社会スポーツ等で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	1人程度	全学科	①電気科、機械科：各科定員の20%程度まで、 ②建設科、商業科、地域ビジネス科：各科定員の30%程度までとする。	
男女レスリング	何らかの運動部または社会スポーツ等で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	4人程度	全学科		
男子サッカー	各競技で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	1人程度	全学科		
男子バスケットボール	何らかの運動部または社会スポーツ等で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	2人程度	全学科		
男子ラグビーフットボール	何らかの運動部または社会スポーツ等で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	8人程度	全学科		
男女陸上競技	各競技で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	4人程度	全学科		
B 人権教育	中学校で2年以上継続した活動実績を持ち、中高連携活動等に参加したり、地域の方と交流を図ったりするなどして、その活動の中心的な役割を果たした者	1人程度	全学科		

注1 募集人数の「○人程度」は、他の募集分野の出願状況等により、記載人数+1名まで合格可能とする。ただし、各募集分野の合格者総計は活動重視枠の募集人数内とする。

注2 団体種目がある募集分野で、男女を分けずに募集する場合、募集人数は、男女それぞれのレギュラー人数-1名の合計までであり、男女別合格者数の上限は、男女のどちらか一方のみレギュラー人数とする。

実績重視枠		A・・・運動部指定競技、B・・・文化部指定分野			
募集競技	出願要件	募集人数	募集学科	備考	
A 男子ソフトテニス	各競技で継続的な活動をおこない顕著な活動実績または高い能力を有する者	6人以内	全学科	①10%程度まで、②15%程度までとする。	

(2) 選抜資料

○配点等

	総 点	調査書	学力検査	活動記録	実技等	個人面接 (時 間)
活動重視枠	500	150	100	50	150	50 (10分)
実績重視枠	500	100	50	100	200	50 (10分)

(3) 実技等の具体的内容

競技・分野	実施場所	形 式	内 容	携行品
すべてのスポーツ種目	体育館	実技検査 (10分程度)	新体力テストより1種目(すべてのスポーツ種目で共通実施)	体操服、体育館シューズ
男子バレーボール	体育館	実技検査 (10分程度)	パス、アタック、レシーブ	バレーボールシューズ
男女レスリング	武道館	実技検査 (10分程度)	受け身、マット運動、タックル	
男子サッカー	武道館	実技検査 (10分程度)	パス、ドリブル、ボールキャッチ	
男子バスケットボール	体育館	実技検査 (10分程度)	パス・ドリブル・シュート	バスケットボールシューズ
男子ラグビーフットボール	体育館	実技検査 (10分程度)	ハンドリング	
男女陸上競技	体育館	実技検査 (10分程度)	短距離・跳躍：ミニハードル走 投てき：メディシンボール投げ 中・長距離：10分間走	
人権教育	普通教室	自己表現 (10分程度)	人権教育について取り組んできたことを5分程度で説明し、その内容について5分程度で質疑応答	模造紙やタブレット端末等を用いて説明
男子ソフトテニス	体育館	実技検査 (10分程度)	ストローク、サーブ、レシーブ	ラケット、インドア用テニスシューズ(体育館シューズも可)

※形式の()内「○分程度」は実技等の1人あたりの目安時間です。

○ 一般選抜
【配点】

大学科\教科	国語	数学	社会	理科	英語	総計
工業科(電気科、 機械科、 建設科)	100	100	100	100	100	500
商業科(商業科、 地域ビジネス科)	100	100	100	100	100	500